

資料-3

地域振興会議資料
平成27年5月13日
財産経営課

河原町総合支所整備（耐震化）の推進について

今年度、河原町総合支所の耐震化に向けて次の考えを基に調査・検討を行います。

1 現況

	建築年	築後 (H27)	構造	耐震対策	各階面積		延床面積	敷地面積	
河原町総合支所	S43	47年	RC造3階	Is値0.38	1階	511㎡	1,666㎡	5,433㎡	市有地
					2階	595.2㎡			
					3階	516㎡			
					PH	43.6㎡			
// 増築部	H2	25年	RC造3階	新耐震基準	1階	498.5㎡	1,363㎡		
					2階	598.5㎡			
					3階	250㎡			
					PH	15.6㎡			

- ・本庁舎は耐震診断結果が基準¹（Is 値 0.6）を下回っています。
- ・増築部分は新耐震基準で建築

2 使用状況

- ・本庁舎、延床面積1,666㎡（支所+南工事事務所+東部広域）、未使用面積が約300㎡（1F：58㎡、2F：87㎡、3F：116㎡、PH：43㎡）
- ・増築部（新耐震基準）延床面積は1,363㎡
- ・本庁舎・増築部とも会議室などの使用頻度は低い

3 今後の進め方

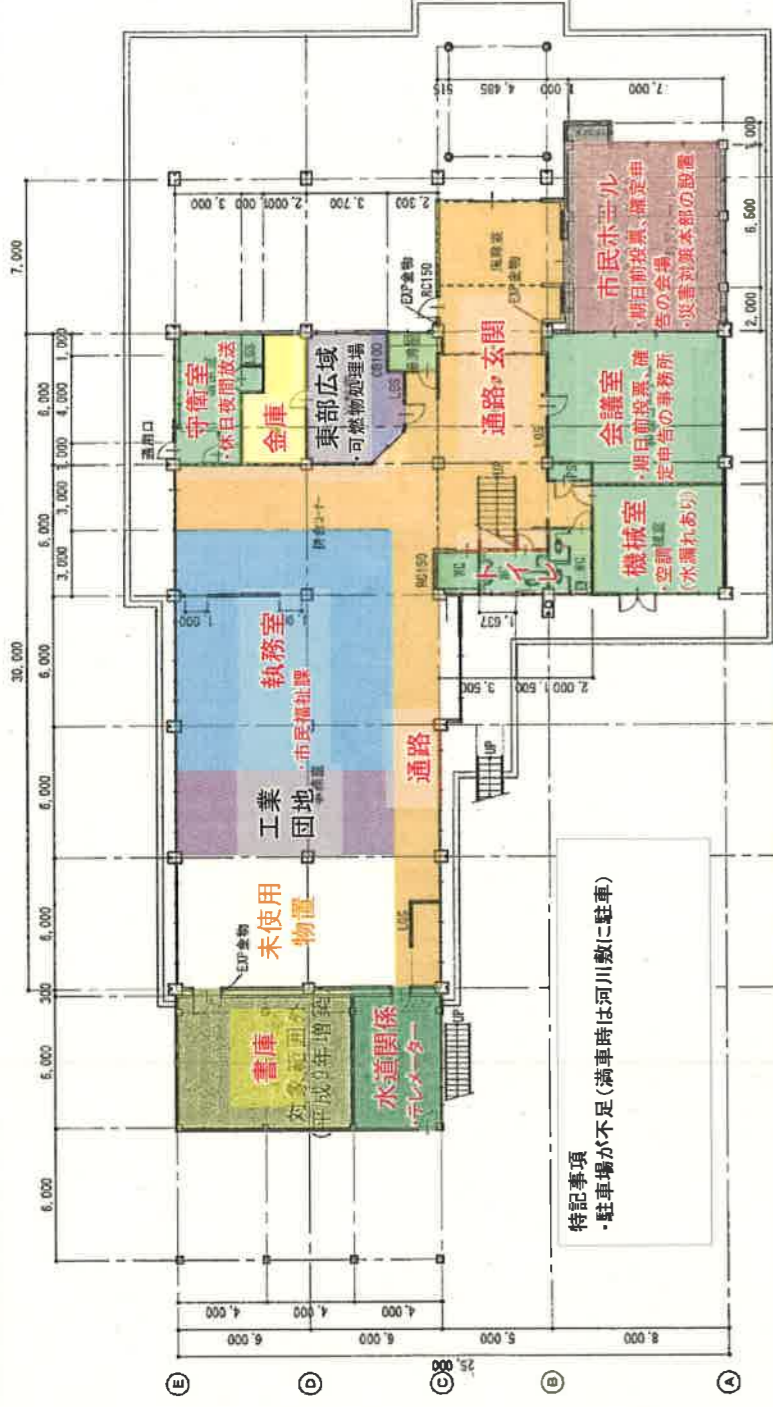
平成2年に建築された増築部分を有効活用することを検討します。

- ・防災機能の向上・ユニバーサルデザイン等の環境づくり
- ・利便性の向上（1階に3課を集約）など

<予定>

平成27年5月～12月 総合支所耐震化基礎調査を実施
 平成28年1月～ 調査結果を基に整備方針の検討

¹ Is 値：構造耐震指標といわれ、当該建築物に耐震性があるかないかを図る指標
 Is 値が 0.6 以上のときに、その建物が安全であるといえます。



特記事項
・駐車場が不足(満車時は河川敷に駐車)

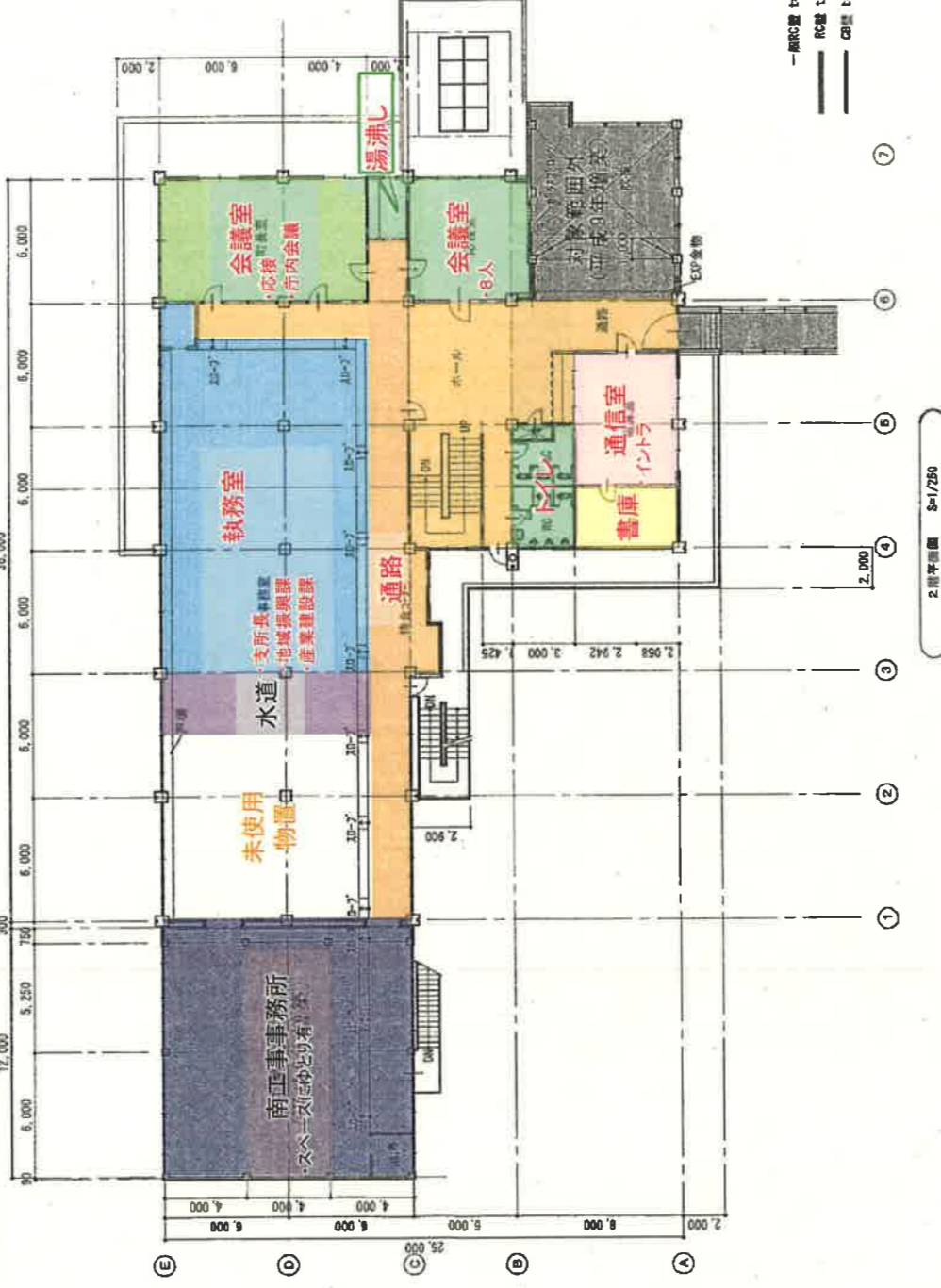
建築年	築後	構造	耐震対策	各階面積	延床面積
河原町総合支所	S43	RC造3階	Is値0.38	1階	511㎡
				2階	595.2㎡
				3階	516㎡
" 増築部	H2	RC造3階	新耐震基準	1階	498.5㎡
				2階	598.5㎡
				3階	250㎡
				PH	15.6㎡
				PH	1,666㎡

①

重量 S=1/250

■ 執務室(執務室、受付スペース、待合スペース)
 ■ 倉庫(倉庫、倉庫)
 ■ 諸室(会議室、相談室、印刷室、守衛室、休憩室、トイレ等)
 ■ 通路(玄関、廊下、階段、エレベーター等)
 ■ 防災(災害対策スペース、備蓄倉庫、防災無線室、通信室)
 ※災害対策スペースは平時は会議室や市民交流スペースとして使用

河原町総合支所(本庁舎:2/3)



一階RC壁 t=120
 RC壁 t=150
 CR壁 t=100

2階平面図 S=1/250

河原町総合支所(本庁舎:3/3)

(本庁舎3階)

特記事項
・以前は屋上を書庫として利用(現在利用なし)



一階RC壁 t=120
 CR壁 t=100

3階平面図 S=1/250

